

### 参加 10 市中 4 位 入賞 滋賀県民駅伝競走大会

11月22日(日)に希望が丘文化公園で開催された、「第59回滋賀県民駅伝競走大会」に高島市から8名の選手が出場し4位に入賞されました(1時間33分10秒)。また、3区中学生女子の清水ひなたさん(湖西中)が区間賞を受賞されました。(市民スポーツ課)



### つないだ タスキ ~8人の軌跡~

1区 井上光咲さん (今津東小) 記録: 3分26秒	2区 岸田力斗くん (高島小) 記録: 3分56秒	3区 清水ひなたさん (湖西中) 記録: 10分53秒
4区 佐竹勇樹くん (高島中) 記録: 9分51秒	5区 當銘涼雅さん (高島高) 記録: 11分31秒	6区 福田一樹くん (高島高) 記録: 19分7秒
7区 八田大貴くん (龍谷大) 記録: 19分35秒	8区 横田麻里亜さん (大阪芸大) 記録: 14分38秒	《各区間の概要》 1区(小学生女子) 1km 2区(小学生男子) 1km 3区(中学生女子) 3km 4区(中学生男子) 3km 5区(一般女子) 3km 6区(一般男子) 6km 7区(一般男子) 6km 8区(一般女子) 4km

### NHK「民謡魂ふるさとの唄」収録 伝承の唄と音頭を披露

11月8日(日)に高島市民会館でNHK「民謡魂ふるさとの唄」の収録が行われました。市内外から多くの観客が来場し、会場は大変にぎわいました。市内からは、漁師の田村さんが昔の漁にまつわるお話をされたほか、ふるさとの唄伝承会の皆さんが「地曳き網唄」を披露されました。フィナーレは、高島音頭保存会の皆さんも合流し、高島音頭を実演。客席と一体となって大きく盛り上がり、収録終了後も、しばしの余韻に包まれました。(秘書広報課)



フィナーレ(ふるさとの唄伝承会、高島音頭保存会が出演)

### グラウンドゴルフ 高島市チャンピオン大会



10月30日(金)にマキノ高原において第11回高島市男女別グラウンドゴルフチャンピオン大会が行われ、次の方が入賞されました。(市民スポーツ課)

- |      |     |             |
|------|-----|-------------|
| (男子) | 優勝  | 砂川 兼雄さん(今津) |
|      | 準優勝 | 岡村 敦夫さん(今津) |
|      | 第3位 | 山下 茂さん(朽木)  |
| (女子) | 優勝  | 中山 友子さん(今津) |
|      | 準優勝 | 向井 慶子さん(今津) |
|      | 第3位 | 村上由紀子さん(今津) |

### 伝統的工芸品産業大賞「若手奨励部門」 和ろうそく大興 大西巧さん奨励賞を受賞

伝統的工芸品産業の振興に功績のあった人を顕彰する「伝統的工芸品産業大賞」の若手奨励部門奨励賞に、(有)大興 代表取締役の大西巧さん(今津)が選ばれました。今回の受賞は、「櫛100%のろうそくを“手がけ”という日本古来の製法で作りを続けていること」、「環境に配慮し、丁寧なものづくりを通して、灯りのある豊かな暮らしの提案を続けていること」、「カラーバリエーションを増やしたり、絵柄を入れるなどの新商品の開発に取り組んでいること」、「ミラノデザインウィークへの出展や地元工芸家との共同制作などさまざまな機会へ積極的に参加を続けられていること」が高く評価されました。(商工振興課)



### 有限会社ライスステーションタカシマ 優良経営体として表彰!



安曇川町の(有)ライスステーションタカシマが平成27年度全国優良経営体表彰の法人経営体部門で「全国担い手育成総合支援協議会長賞」を受賞されました。この表彰は、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を称えるもので、農林水産省などが実施しています。同社は、水稻を中心に約87haの大規模経営を行い、集落あつての農業経営を心掛け、「常に集落全体と周辺地域のことを考える」、「率先して集落の物事に対処する」を理念に経営をされています。集落からの信頼も厚く、率先して農業関連事業に取り組んでおられます。(農業政策課)

### ココクール マザーレイク・セレクション 2015 高島市内から3社が選定される!

「ココクール マザーレイク・セレクション」とは、滋賀ならではの資源や素材を活かし、心の豊かさや上質な暮らしぶりといった滋賀らしい価値観を持つ商品やサービスをセレクトするコンクールです。今年度は、184件の応募の中から10件が選ばれました。高島市内からは3社の商品やサービスが選定されました。(高島市内企業の選定は初めて)(商工振興課)

#### 株式会社福井弥平商店 萩乃露 特別純米 十水仕込 「雨垂れ石を穿つ」(高島)



江戸時代に行われていた十水仕込という古の手法で生み出される日本酒。現在用いられている手法では生み出すことができない濃密で爽やか、鮮烈な美味しさがある。

#### 薫彩堂 「チーズふなずし」(安曇川)



伝統的なふなずしにチーズを加え、現代風にアレンジしたオシャレなおつまみ。ミリ単位で切られた厚みが、生ハムのような軽やかな触感を生み出している。

#### 有限会社魚治 「湖里庵」(マキノ)



狐狸庵山人・遠藤周作も愛した鮎寿しの名店「魚治」が営む料亭。鮎寿しを中心に、びわ湖の幸が味わえ、湖に臨む部屋からの眺望も素晴らしい。

## 熱気球琵琶湖横断 3年ぶりに湖上へ ふわり



11月29日(日)に、安曇川町近江白浜を出発地点に「第39回熱気球琵琶湖横断レース」が行われました。今年は、風速や気候などの条件がそろい、3年ぶりに琵琶湖を横断するコースとなりました。対岸の東近江市能登川を目指し、37基のカラフルな熱気球が一斉に飛び立つと、訪れた人は歓声をあげたり、シャッターを切ったりと楽しめました。(秘書広報課)

## 親子の琵琶湖教室 太郎兵衛さん縁の地巡り

11月15日(日)、水のめぐみ館アควア琵琶が開催している「親子の琵琶湖教室 琵琶湖に生きた太郎兵衛さん物語」の第4回目が、藤本太郎兵衛の故郷である高島市で行われました。

26名が参加した今回のツアーでは、湖水守号に乗って高島市を訪れ、語り手の石田弘子さんのお話を聞きながら、太郎兵衛の銅像や新旭町深溝にある生家などを巡りました。参加者の方々は、「瀬田の洗堰がなぜ高島の人と関わるのかと思っていただけ、お話を聞いてよくわかった。」と、ツアーを楽しまれていました。(秘書広報課)



## 第2回 FAIRY TRAIL びわ湖高島トレイルランニング in くつき トレイルを舞台に健脚競う

11月15日(日)、朽木で「第2回FAIRY TRAIL (フェアリートレイル) びわ湖高島トレイルランニング in くつき」が開催されました。

この大会は、朽木のトレイルコースを舞台に健脚を競う大会です。高島市の自然・風土・食文化を通じ、ランナーが「来てよかった」と感動し、おもてなしをする地元の人々が「来てもらってよかった」と感謝する。両者の想いがつながり、ともに幸せを感じる大会の実現をコンセプトにしています。

コースは、ロングコース約40km、ショートコース約18kmで、およそ770名のランナーが参加されました。

youtube



当日は前日からの高島しぐれで、山中のコースは足元が不安定ではありましたが、ランナーの皆さんは色づき始めた山の景色を楽しんで走れたようで、一様に晴れやかな笑顔でゴールされていました。

最後に来年の開催予定も宣言され、参加



者の皆さんはまた新たな目標に向かって期待を膨らませておられました。(秘書広報課)

## 第11回 高島市美術展覧会、青少年美術展覧会 開催！ 市民芸術作品が一堂に1769点!!

(敬称略)

### 高島市美術展覧会受賞作品

作品は市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



工芸の部  
「希望の道」  
千野 久子



写真の部  
「憂愁」  
西村 道子



書の部  
「偶相詩」  
飯住 和子



平面の部  
「映る」  
吉本 香苗



立体の部  
「谷渡り」  
山口 明



青少年美術展覧会の様子

## 子どもの成長支える関係者集い開催 市・県青少年育成大会

市と県の青少年育成大会がそれぞれ市内で開催されました。(青少年課)

### ▼滋賀県青少年育成県民大会

11月7日(土) / 藤樹の里文化芸術会館

ガールスカウト第30団(新旭地域)が滋賀県知事表彰を、またガールスカウト第45団(マキノ地域)と高校生時代から子どもの体験活動のボランティアとして積極的に活動されている新旭町の桂田音音さんが県民議会会長表彰をそれぞれ受賞されました。

活動発表では、トゥインクルスターズのチアリーディングやガールスカウト湖西地区によるカラーガード演技が披露され、県内各地から約400人の参加者が集う盛大な大会となりました。



### ▼高島市青少年育成大会

11月22日(日) / 安曇川公民館ふじのきホール

安曇川町の井上貴峰さんが善行青少年表彰を、朽木の海老澤文代さんが青少年健全育成成功表彰を受けられました。井上さんは、中学生時代から小学生の良きお手本として子どもの体験活動に取り組みられています。また海老澤さんは、旧朽木村青少年育成村民会議や高島市青少年育成市民会議の会長として青少年の健全育成にご尽力いただきました。

中学生の意見発表では、市内各中学校の代表者が普段感じている思いを熱く語りました。

基調講演では、元大阪府警察少年補導職員の野澤征子さんから、今の若者の現状や、スマホなどの通信機器による危険性などをテーマにお話いただきました。「どんなに通信機器が発達しても子どもたちの心を動かすのは人の心です。」という話に参加された皆さんも大きくうなずいておられ、改めて地域ぐるみでの見守りの大切さを実感する機会となりました。最後に、「ネットの危険から高島の子どものを守る運動を推進するための緊急アピール」を行い、160人を超える参加者から賛同の拍手が沸き起こりました。

意見発表をする高山 唯さん(今津中)

